

04 須貝思い出の品…… 潜望鏡を作ろう

自由研究の最後はスペシャルバージョン！ ナイスガイ須貝が実際に小学生のときに作って賞をもらった工作を紹介します。大人の皆さんは、ぜひ童心に戻ってチャレンジしてみてくださいね。

う え み ど り その名も上見鶏



須貝少年の
思い出

小学4年生のとき、潜水艦から海上を観察する「潜望鏡」の仕組みに興味を持ちました。調べてみると意外と簡単な仕組みだったので、当時の僕は作ってみることにしたのです。父に鏡を割ってもらって、それを使ったのを覚えています。

牛乳パックだと味気ないなと思い、緑の画用紙を貼りつけてみたところ、まるで鳥のよう。そこで羽を生やし、風見鶏ならぬ「上見鶏」と名づけました。夏休みの自由研究として提出したら、学年の優秀賞に選ばれて、地元のスーパーマーケットや市役所で展示されたのがうれしかったです。

[用意するもの]



牛乳パック
(3個)



手鏡
(2枚)



カッター



ハサミ

鏡をつける台を作る際、セロハンテープやビニールテープがあると便利



100円ショップなどで売っているタテ8cm×ヨコ5cm程度の小さな手鏡

[準備]

1 上見鶏の胴体を作る

※ここでは、手順がわかりやすいように胴体部分の1本だけジュースのパックを使っています。



① ジュースのパックの側面上部に、牛乳パックの底と同じ大きさの穴を開けます。牛乳パックの底を当て、切る範囲に印をつけておきましょう。



② ①でつけた印に沿って、カッターで切ります。手と同じ大きさの穴を開けます。手と同じ大きさの穴を開けます。切り取った紙片は後で使うのでとっておいてください。



③ ②とは反対の側面の下部にも、牛乳パックの底と同じ大きさの穴を開けましょう。これで上見鶏の胴体部分ができました！

2 上見鶏の頭と尾の部分を作る

このかたちが2つ



④ 牛乳パックは、まず、屋根（注ぎ口）の部分と底を切り取ります。牛乳パックは2本とも屋根と底を切り取ってください。



⑤ 屋根と底を切り取ったら、①と同じように、2本とも側面上部に底と同じ大きさの穴を開けます。反対の側面の下部は切らなくてOKです。



これで上見鶏の
パーツが
できました！

3 頭と尾に鏡を取りつける



⑥ 切り取ったパックの紙片の先端を、鏡の裏にテープなどで貼ります。この紙片が鏡の台座になります。鏡を45度の角度で立てます。



⑦ 牛乳パックに⑥の鏡を設置します。⑤で穴を開けた部分に対して、鏡が45度になるように取りつけるのがポイントです。



⑧ 鏡の角度がうまく定まらない場合は、牛乳パックの側面と鏡の裏に紙片やテープを貼って支えとし、角度を調整してください。